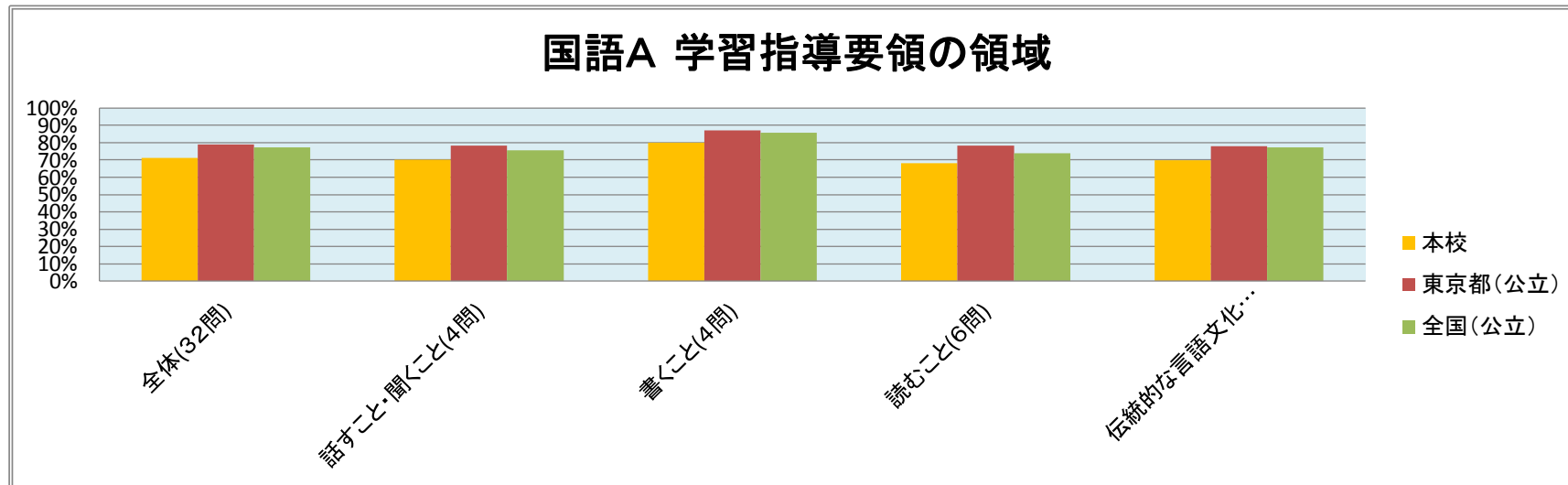


平成29年度 全国学力調査（国語）

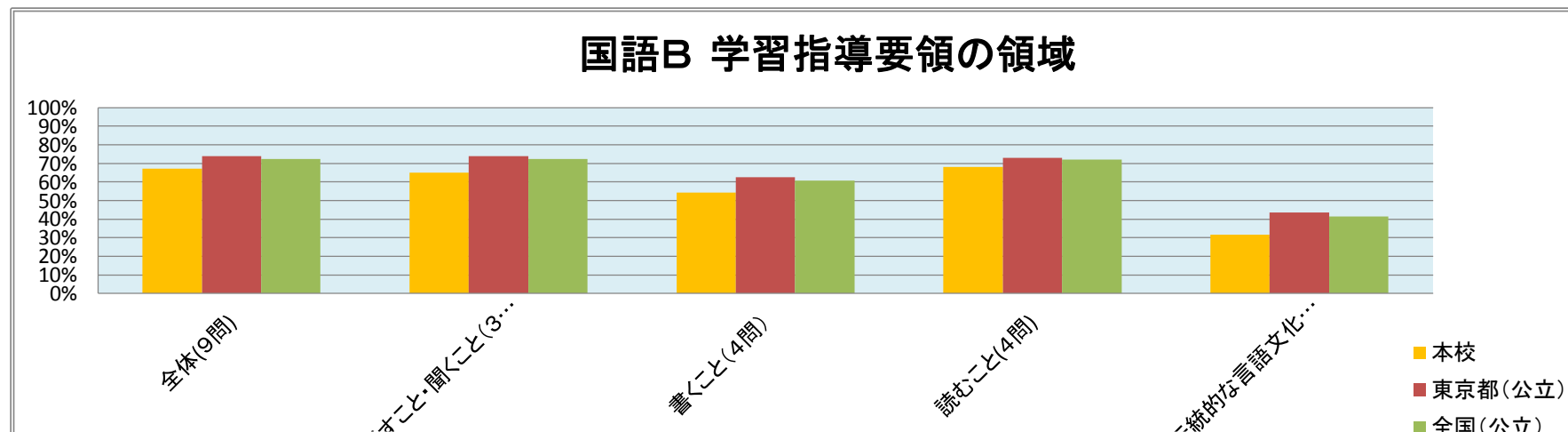
1. 分類ごとの平均正答率

(1)国語A:主として知識



- ①全国・東京都の平均正答率に比べ、すべてに関して下回っている。
- ②全体から見ると、書くことが他の観点よりも上回っている。

(2)国語B:主として活用



- ①全国・東京都の平均正答率に比べ、すべてに関して下回っている。
- ②読むことについては、全国の平均と同じ程度である。

2. 調査問題から見た課題

(1)話すこと・聞くこと

- ①互いの発言を検討して自分の考えを広げること課題がある。

(2)書くこと

- ①文章を読み返し、文の使い方などに注意して書くこと課題がある。
- ②根拠を明確にして自分の考えを具体的(特に体験談)に書くこと課題がある。

(3)読むこと

- ①文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめること課題がある。
- ②課題の解決に必要な情報収集の方法を身につけることや、資料から読み取った情報を適切に活用すること課題がある。
- ③本文を根拠にして、筆者の主張や登場人物の心情を読み取ること課題がある。

(4)伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- ①語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うこと課題がある。
- ②辞書を活用し、漢字が表している意味を正しく捉えること課題がある。
- ③文の成分の照応について理解すること課題がある。

3. 指導改善のポイント

(1)話すこと・聞くこと

○話し合いを通じて自他の考えを豊かなものにする指導の工夫

話し合いを通じて自分の考えを広げたり、課題の解決に向けて互いの考えを生かし合ったりする力を身につけるために、互いの発言を検討して共通点や相違点を聞き分けたり、話題になっている物事について別の立場や視点から考えたりするように指導する必要がある。また、話し合いの過程で進み具合を客観的に把握したり、それまでの話し合いの経緯を振り返ってこれからの展開を考えたりするように指導することも重要である。

○他者の意見を評価し、尊重する指導の工夫

他人の発表を聞くときは、良い点や悪い点、参考になる点をワークシートに記入させ評価する時間をつくる。この活動を通して、他人の意見を真剣に聞く姿勢を身に付けさせる。また、評価したことを相手に伝え情報を共有し、今後の発表に生かすよう指導する。さらに、他人の発表の仕方を参考にさせることで新たな視点をもたせ、自分の考えを広げることにつなげる。

(2)書くこと

○伝えたいことを相手にわかりやすく書く指導の工夫

文章の中の自分の考えや気持ちについて根拠を明確にして書く力を身につけるために、自分の思いや考えを繰り返すだけではなく、複数の事例や専門的な立場からの知見などを示すように指導する必要がある。また、表現しようとする内容にふさわしい語句を選んで書くように指導することも大切である。その際、読み手がその文章を読む意図や目的を意識しながら、考えの根拠となる内容が適切に取り上げられているか、読み手に対してどの部分が根拠であるかがわかるように示されているか、伝えたい事柄等にふさわしい語句や文の使い方になっているか、文の成分の順序や照応は適切かなど、文章を複数の視点から見直すように指導することが重要である。

(3)読むこと

○文章の構成や展開、表現の仕方について自分の考えをまとめる指導の工夫

文章の構成や展開、表現の仕方について自分の考えをまとめる力を身につけるために、自分の考えを支える根拠となる段落や部分などを挙げるように指導する必要がある。その際、書き手の意図との関連を考えさせることが重要である。文章の構成や展開、表現の仕方についての印象をもつことにとどまらず、そのような表現をした書き手の目的や意図を考えたり、その効果について考えたりするように指導することが大切である。また、教科書本文以外の文章を取り上げ、読み取りが出来ているか定期的に評価する必要がある。

○課題の解決に向けて情報を収集し整理する指導の工夫

課題の解決に必要な情報を集めるための方法を身につけるとともに、資料から読み取った情報を適切に活用する力を身につけるために、自ら課題を設定し、基礎的・基本的な知識・技能を活用し、他者と相互に思考を深めたりまとめたりしながら解決するように指導する必要がある。その際、他領域や他教科等の学習との関連を図るなどして課題を設定し、課題の解決に向けて学校図書館や地域の図書館、公共施設、あるいはコンピュータや情報通信ネットワークなどを利用して情報を収集し整理する学習活動を取り入れることが重要である。

(4)伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

○多様な語句について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにする指導の工夫

事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるために、それぞれの語句が話や文章の中でどのように関連づけて使用されているか、自分が表現するときどのように活用すればよいかについて辞書等を用いながら考える機会を意図的に設ける必要がある。また、各教科等の学習の中で適切に使用するように指導することも重要である。